

子どもが気軽にスポーツに親しめる環境づくり事業

～キッズウォーターアドベンチャー・学童保育施設での出前講座～

団体名：人間科学部スポーツ学科地域スポーツマネジメントゼミナール 代表者名：西村貴之

はじめに（背景・目的・目標）

白山市と本学は2017年3月に地域振興や人材育成に協力する包括連携協定を締結した。本事業は協定にもとづき、白山市教育委員会スポーツ課と本学人間科学部スポーツ学科地域スポーツマネジメントゼミナールとが協働で企画・実施した。

企画立案にむけた白山市スポーツ課担当者とゼミナール所属学生との打合せでは、白山市の子ども達のスポーツ環境における現状課題として、「運動能力の低下」、「運動・スポーツをする子としない子との二極化」、「スポーツ少年団への加入率の低下」といった点が挙げられた。

これらをふまえ、企画の目的として①誰でも気軽に楽しく運動・スポーツに親しめる場の提供、②運動・スポーツの楽しさ、面白さを伝える、③発育発達にもとづいた多様な動きを経験し、自発的に体を動かす心を育む、④学生が地域の子ども達との交流による相互発展を目指す、という4点を掲げた。

活動内容

上記目的を達成するため、(1) イベント型（スポーツや運動を楽しんでもらうためのイベントの開催）と(2) 学童出前型（学童保育施設等へ訪問し、気軽にできる運動やスポーツを紹介する）の2つの取り組みを実施した。2017年度、2018年度の活動内容は以下のとおりであった。

【2017年度】

(1) イベント型

名称：キッズウォーターアドベンチャー

日程：2017年8月11日（金）

会場：白山市松任総合運動公園フェスティバルローン

内容：水風船玉入れ、水鉄砲合戦など

参加者：小学校3、4年生50名

スタッフ：本学学生20名（スポーツ学科、こども学科）



写真 キッズウォーターアドベンチャー①



写真 キッズウォーターアドベンチャー②

(2) 学童出前型

日程：①2017年7月27日（木）

②2017年8月21日（月）

対象：①美川ふれあい児童クラブ児童26名

②松任トマトクラブ、ポテトクラブ児童74名

内容：ボッチャ、スポーツかるた、クレーンゲーム等



写真 学童出前講座（2017年度）

【2018年度】

(学童出前型)

日程：①2018年7月31日(火)

②2018年8月8日(水)

対象：①かわちっ子クラブ児童20名

②北陽イルカ・ペンギンクラブ児童47名

内容：ボッチャ、障害物走、クイズ、新聞的当て等



写真 学童出前講座(2018年度)

成果、結果の考察

いずれの活動においても、「はじめに」で示した4つの目的にそってプログラムの設計を行った。特に、運動やスポーツが苦手な子どもでも楽しむことができるよう、学生達は創意工夫した内容を展開した。具体例を挙げると、学童出前講座で実施した「ボッチャ」は、パラリンピック種目として採用されている競技であり、学生達は授業で学んだアダプテッドスポーツの「みんなが一緒に楽しむことができる」という理論を今回の実践に生かしていた。また、どの活動でも、参加児童をいくつかの小グループに分け、グループごとに担当学生を配置し、児童と学生とのコミュニケーション機会を増やすよう注力していた。ただ、なるべく子ども達の主体性を尊重し、必要以上の統制をかけないよう配慮する様子が見てとれた。

こうした努力の結果、多くの子ども達から「楽しかった」、「またやりたい」という声を聞くことができた。また、白山市スポーツ課担当者や学童保育の指導員の方々からも、大学生と子ども達との適度な距離感が良い雰囲気をつくることができている、事前準備、打合せ実施、当日運営についてもスムーズに行っていたとよい評価を得ることができた。

2018年度の活動ではイベント型の活動は実施しなかった。2017年度の活動終了後に白山市スポーツ課担当者との活動のふりかえりを行った中で、公募型のイベントでは、運動好きの子どもや既に定期的なスポーツ活動を実施している子どもが集まりがちになり、その場限りの打ち上げ花火的色合いが強く、本事業の目的達成や地域の課題解決にはつながらないという結論に至ったためである。

他方、学童出前講座については、運動が得意・好きな子、苦手・嫌いな子が混在していること、また学童保育指導員からも要望があることから、2017年度とは別の学童保育施設にて、出前講座を実施することとし、活動の継続を決定した。

「地域振興や人材育成」を目的とした、自治体と大学との連携協定にもとづく取組みとして、本事業は、各連携団体が保有する資源やネットワークを活かすことのできた取組みだと感じている。本ゼミ学生にとっても、座学での学びを現場での実践に結びつけ、今後のキャリアの検討にも貢献可能な活動になっていると自己評価している。

今後の課題、展望

これらの活動が契機となり、2019年1月22日(火)に白山市民交流センターにて、白山市議会議員による「金沢星稜大学との議会報告会」に本ゼミナール学生が参加し活動を紹介した。そこでの意見交換の中で、「白山市の豊かな自然資源を活用して、この活動を発展させてはどうか」、「夏休み中だけでなく、授業実施期間中の小学校との連携可能性もあるのではないかと」といった積極的な意見が出された。

すでに2019年度についても何かしらの形で連携活動を継続していくことをスポーツ課担当者とは確認している。現時点では、単独ゼミでの活動にとどまっており、「白山市内全ての子ども達を網羅する」にはすぐには及ばないながら、こういった地道な種まきが後々のうねりにつながるよう、活動を継続していきたいと考えている。